

令和5年度第1回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 会議録

日時： 令和5年10月13日（金） 午後2時から午後3時

場所： 市役所地下1階 団体研修室

出席者： 星野里香（障がい福祉課課長）、三浦健（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会会長）、
菊地謙（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会副会長）、
佐藤祐太（障がい者の働くを支えるチーム）、
馬場武士（地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム）、
竹内直人（障がい分野の情報を発信・啓発するチーム）、
恩田信幸（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム）、
三星みなみ（医療的ケア児支援チーム）

欠席者： 山根清孝（障がい者のつながりを支えるチーム）

事務局： 【鎌ケ谷市障がい福祉課】高橋主幹、稲葉主任主事
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺、坂巻、岩室

傍聴者： 0名

・ 本日の委員の出席者数と傍聴者数の報告

事務局より、本日の委員の出席者8名、会議成立の定則数の過半数を超えている旨報告。

・ 部会長挨拶

・ 委員自己紹介

1 地域連携部会について

事務局より鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）の組織図を基に地域連携部会について説明した。

2 各テーマ別チーム会議における検討状況の報告

各部会員よりテーマ別チーム会議における検討状況の報告があった。

(1) 障がい者の働くを支えるチーム

- ① 「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」を更新し令和5年度版を作成した。今後は、各機関（行政、支援学校、相談支援事業所、精神科の病院やクリニック等）へ郵送するためのリストアップに取りかかる。船橋市や松戸市等の近隣市にも配布する予定。併せてホームページへ掲載する準備をしている。
- ② 鎌ケ谷市内の中小企業に対して、障がい者雇用のアプローチをしようと考えている。最初に鎌ケ谷商工会議所に対してどんなアプローチが出来るかを考えているところ。

(2) 地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

昨年度の本会議で提言書が承認された。その提言書の「3 特別支援学校等へ調査」について、「スクールバス運行状況アンケート」を作成した。このアンケートを本会議にかけたい。アンケートの依頼先は、つくし特別支援学校と松戸特別支援学校を予定している。

(3) 障がい者のつながりを支えるチーム

昨年度からの引継ぎ事項により、今年度は「困った！どうする！？支援者向けシート」の効果的な活用方法を考える事および事例検討を深めるという2点を活動の内容とする。「困った！どうする！？支援者向けシート」は、ライフステージごとに作成した方が分かりやすいという意見があり、その方向で検討し今年度中には完成する予定している。

(4) 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

障がい者およびその家族と、福祉事業所とのつながりがまだまだ足りない。お互いの理解を深めるため、2024年1月23日に「鎌ヶ谷市障がい福祉サービス事業所等合同説明会～福フェア～」を開催したい。広報の方法等は現在検討中である。

(5) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

- ① 昨年度中に作成した「つながるシート」を実際に市役所の職員に使ってもらったところ、使いづらいという意見だった。いただいた意見と課題をもとに検討しながらブラッシュアップしていく。
- ② 鎌ヶ谷市のピアサポートの活動について、昨年引き続き聖学院大学の相川先生にお願いし、12月15日に2回目のピアサポート研修会を行う。

(6) 医療的ケア児支援チーム

災害時の避難所に設置されている「コミュニケーション支援ボード」に追加する「鎌ヶ谷市医療的ケアが必要な方のサポートマニュアル」を作成した。さらに「災害時の電源マップ」を作成しようと検討している。マップの作成に必要な確認事項を障がい福祉課にも相談し、市内の医療機関に調査をするためのアンケートを作成している。

部会長

「地域資源を調査・研究しよりよい方策を検討するチーム」のアンケートの実施並びに「障がい分野の情報を発信・啓発するチーム」の事業所等合同説明会の開催について、自立支援協議会に諮るということによろしいか。

→異議なし

部会長

では、この内容を10月26日（木）の会議に諮っていく。その際には市の事務局から委員に

説明させてもらう。

部会員

事業所等合同説明会については、みんなで盛り上げられたら良いと思うので、是非この機会を有効に使って欲しい。「障がい者のつながりを支えるチーム」の「困った！どうする！？支援者向けシート」を配るのも良いと思う。

部会員

災害時の電源については、東京電力に問い合わせるのもよいと思う。

部会員

「災害時の電源マップ」のアンケートに駐車場の有無の観点もあるとよいと思う。

部会員

ご意見を参考に「災害時の電源マップ」について調査のポイントや問い合わせ先を検討する。

部会員

鎌ヶ谷市の指定福祉避難所はどこになるのか。

部会長

社会福祉センターや市内の特別養護老人ホーム、もくせい園と協定を結んでいる。

部会員

「地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム」より昨年度提出された提言書について、チームメンバーから進捗や回答がほしいという意見が出ているので、本会議でも共有してほしい。

部会長

予算に関する問題なので年度途中で共有するのが難しい。共有できるタイミングになったら報告する。

3 次回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の議題について

事務局

令和5年11月20日開催予定の本会議の議題は、以下3点とする。

- ・「スクールバス運行状況アンケート」の実施について
 - ・「鎌ヶ谷市障がい福祉サービス事業所等合同説明会～福福フェア～」の開催について
 - ・「第7期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第3期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画」(案)について
- 異議なし

4 その他

部会員

地域生活支援拠点事業の現状、相談支援事業所との連携、人材育成（担い手の確保）の3点に

ついて教えてもらいたい。チーム会議の議題ではないが、重要なことなので共有してほしい。

部会員

相談支援事業所との連携については、良好な関係を築くよう努力している。人材不足の対策としては、就職フェア等のマッチングの機会が必要と考えており、商工会でも考えているところがある。

事務局

地域生活支援拠点事業については緊急時のコーディネートは基幹相談支援センターえがおが担っている。実際に預かっていたのは、もくせい園とみちる園にお願いする取決めになっている。この事業については、年に一度、本会議で報告している。

部会長

ほかになれば、閉会とする。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年12月1日

氏名 佐藤 祐太 _____

氏名 馬場 武士 _____